

# 下水道アドバイザー制度の 実施状況と課題について



---

平成21年7月30日

(財)下水道業務管理センター

業務部 須賀雄一

*Sewerage Business Management Center*



## 下水道アドバイザー制度とは

下水道整備を推進している地方公共団体等

下水道事業の普及啓発、計画、建設、経営、  
維持管理などに関する悩みや相談



経験豊富な公共団体OB等  
(下水道アドバイザー)によるアドバイスを気軽に  
受けられる業務支援制度



## 下水道アドバイザー制度とは

---

下水道事業に着手する中小市町村が増加



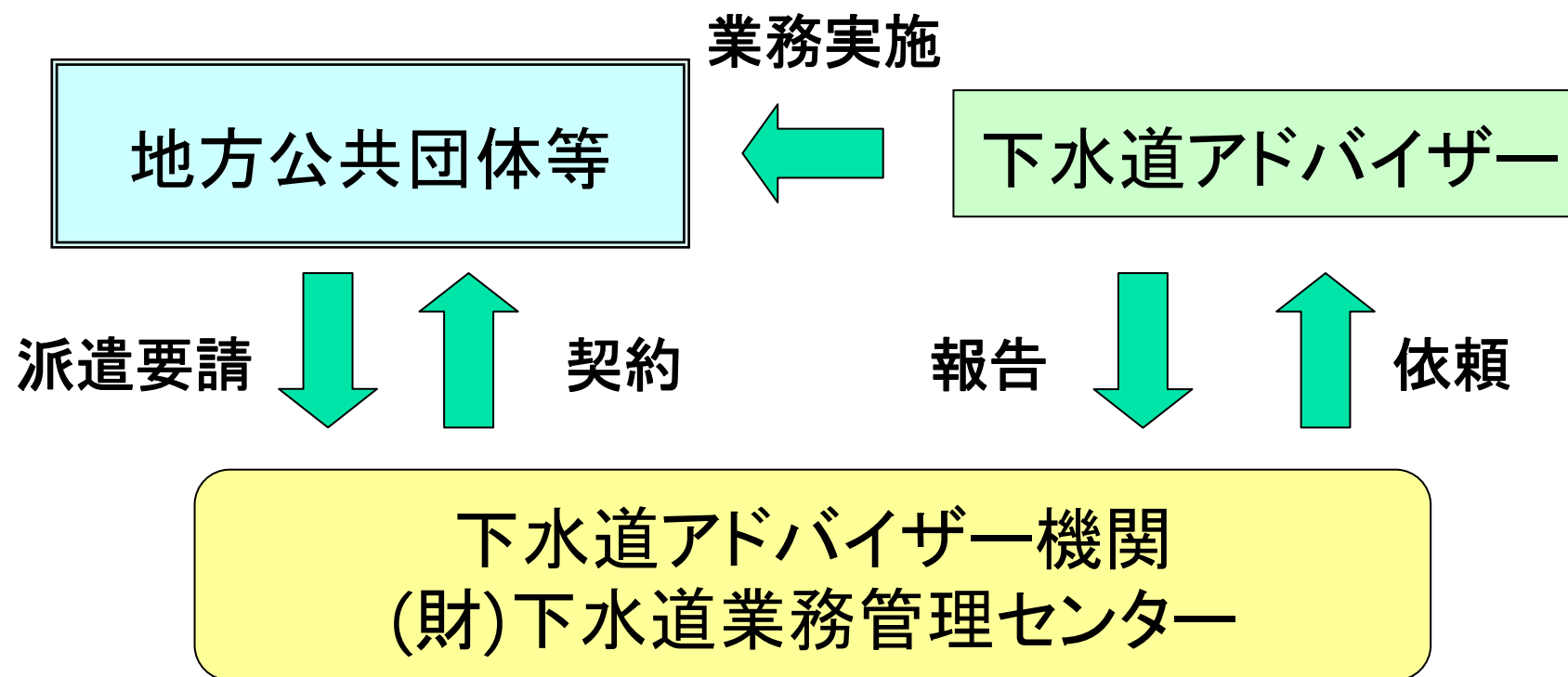
さまざまな相談や悩みに答えるための窓口が必要



建設省(現国土交通省)の平成7年度重点施策  
「中小市町村における下水道整備の推進」  
の一環として創設された。



## 下水道アドバイザー制度の実施体制



要請に基づき、登録者の中から適任と思われる  
下水道アドバイザーを選定



# 下水道アドバイザー制度の実施体制

## 下水道アドバイザー制度運営委員会

- ・国土交通省
  - ・日本下水道事業団
  - ・下水道アドバイザー機関
- ・下水道アドバイザーの資格審査
  - ・制度の運営に関する事項の決定等



## 下水道アドバイザーの登録要件

下水道アドバイザーに登録するには  
一定の要件を満たす必要がある。

- ①国土交通省、日本下水道事業団、地方公共団体等で下水道事業を豊富に経験した後、退職した方
- ②原則として年齢が50歳から70歳までで、心身ともに健康であること
- ③出身団体の推薦が得られること



## 下水道アドバイザーの選定手順

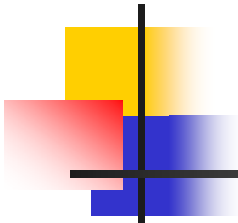
---

毎年1月頃 下水道アドバイザー機関より、  
下水道アドバイザー新規募集の告知

3月頃 「下水道アドバイザー制度運営委員会」  
による資格審査

4月～ 下水道アドバイザー委嘱

委嘱期間は3年間で、希望により更新も可能  
21年度現在、下水道アドバイザー登録者は33名



## 下水道アドバイザーの登録分野

---

アドバイザーは事前に専門分野を登録する。

- ・下水道計画
- ・処理場設計
- ・管渠設計
- ・施工
- ・処理場管理
- ・管渠管理
- ・工場排水指導
- ・排水設備指導
- ・下水道経営



# アドバイスの実施方法

---

- ・講演

内部研修、勉強会、講習会などの講師

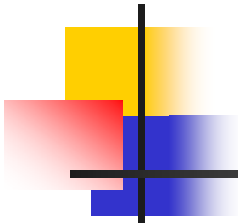
- ・相談

業務を実施する上での不明点や悩みへの個別対応

- ・助言・指導

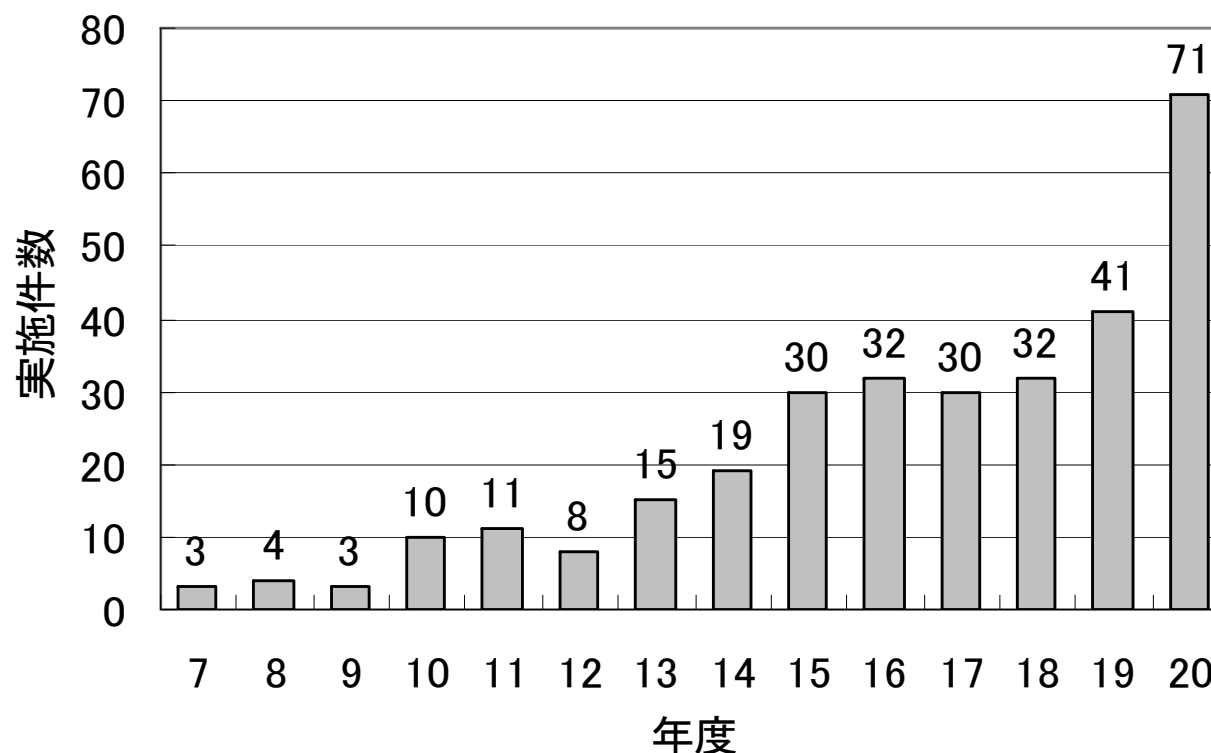
トラブル発生時などの第3者的対応、コスト縮減など  
などへの提言など

実際の依頼は大半が「講演」

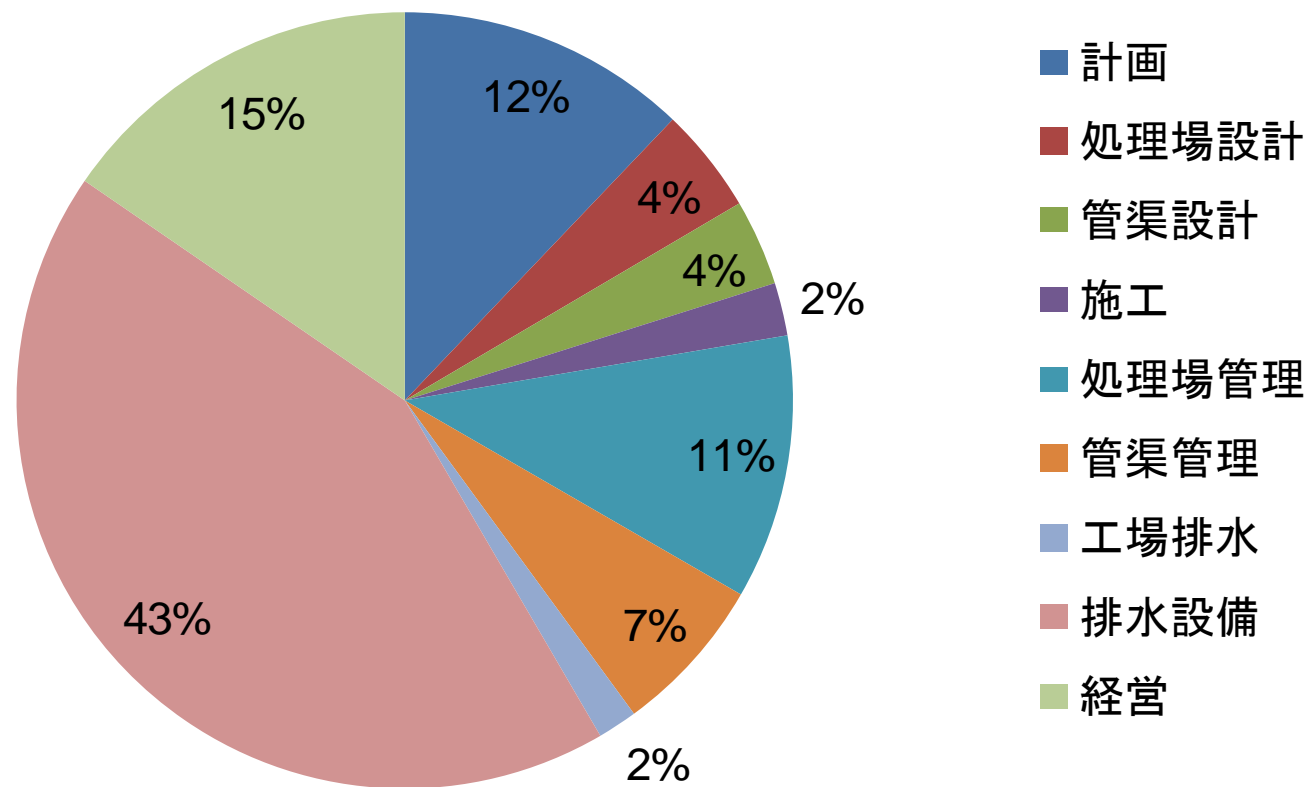


## 下水道アドバイザーの業務実績

平成7年度の制度創設から平成20年度末までの14年間に  
における下水道アドバイザー業務の実施件数は309件



## 下水道アドバイザーの分野別業務実績 (平成7～20年度)





## 要請団体に対するアンケート

---

### ①講演の時間配分

- 講演時間は平均2時間程度がよい。
- おおむね良好との回答を得た。

### ②講演内容のわかりやすさ

- 実体験を基にした講演に対する評価が高い。  
(地震時の対応など)
- ビデオなど視覚教材を活用した講演の評価が高い。



## 要請団体に対するアンケート

---

### ③下水道アドバイザー制度に対する要望

- 近くに在住の下水道アドバイザーへの依頼希望
- 事務系の下水道アドバイザーの確保
- より専門性の高い下水道アドバイザーの確保
- 過去の講演実績に関する情報のホームページ等での公開。



## 要請団体に対するアンケート

---

### ④今後要請したいアドバイスの内容

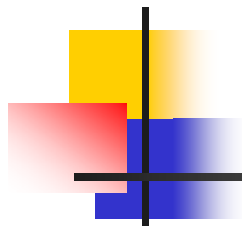
- 排水設備に関する講演(責任技術者講習等)
- 下水道経営の健全化に関する講演
- 中長期計画の策定手法に関する講演
- 新技術、新制度に関する講演



## 下水道アドバイザー制度の課題

---

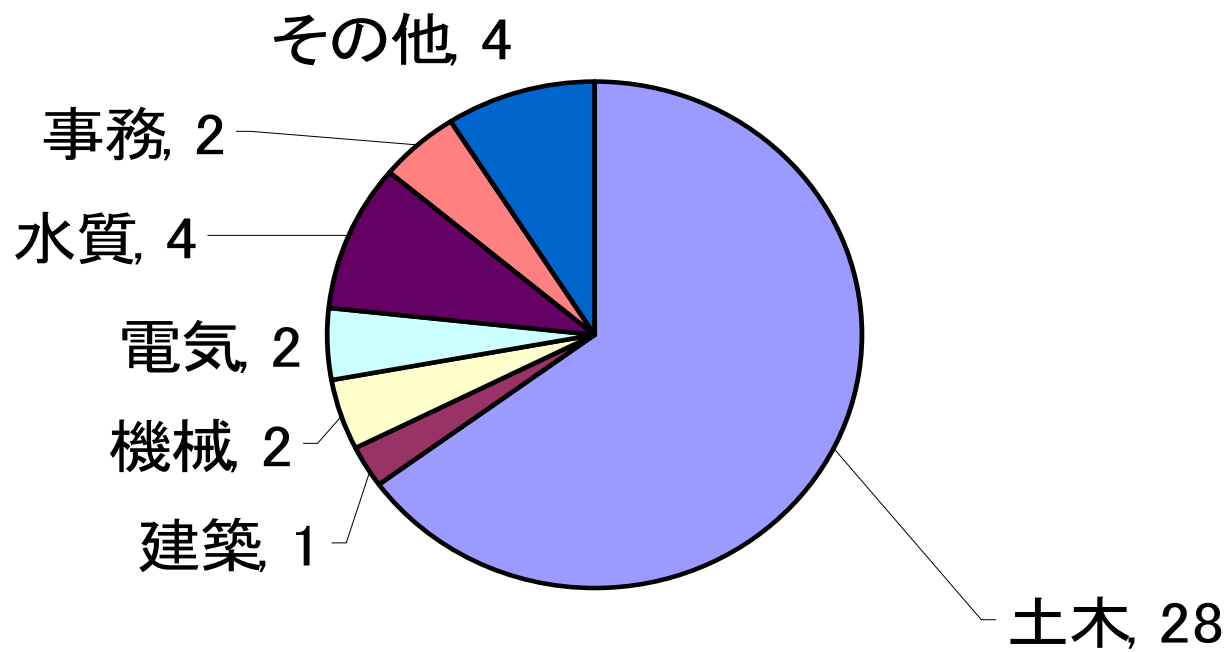
- ①各分野登録者数と依頼内容(ニーズ)のズレ
- ②アドバイザー居住地の地域的偏り
- ③下水道アドバイザー制度に関する情報発信の充実



## 業務分野別登録者数と実施件数(20年度)

分野	登録者数	実施件数
計画	28	9
処理場設計	20	1
管渠設計	20	1
施工	18	3
処理場管理	22	3
管渠管理	19	2
工場排水指導	5	3
排水設備指導	12	50
下水道経営	11	5
計(延べ)	115	77

## 登録者の職種(20年度)



単位:人



## 業務分野別登録者数と実施件数

---

登録者の少ない分野に多くの要請がある場合の問題点

- ・特定のアドバイザーに依頼が集中する
- ・要請団体のニーズやスケジュールに对应られない



## 地域別登録者数と実施件数(20年度)

地域	登録者数	実施件数
北海道	1	0
東北	2	5
関東	15	20
中部	2	8
近畿	13	28
中国	1	1
四国	0	2
九州	0	7
計	34	71



## アドバイザーの出身母体(20年度)

出身母体	人数	備考
国土交通省(建設省)	2	
日本下水道事業団	5	
都道府県	9	うち8人は東京
政令市	13	
市町村(政令市を除く)	4	
大学	1	
計	34	

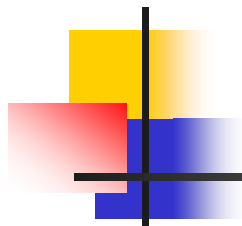


## 地域別登録者数の偏りの問題

---

要請団体所在地とアドバイザー居住地が  
離れている場合の問題点

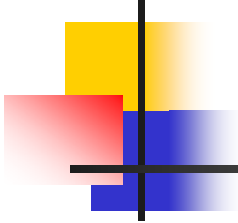
- ・地域特有の事情に対する理解が困難
- ・業務委託費(交通費:実費)の負担増
- ・下水道アドバイザーに対する拘束時間の増加



## 業務実施回数別要請団体数

業務実施回数	団体数
1回	29
2～5回	26
6～10回	3
10回以上	9

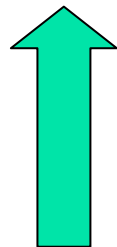
継続して利用する団体もあるものの、4割の団体が1回のみの利用



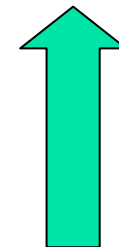
# 下水道アドバイザー制度に関する 情報の提供

地方公共団体等

下水道アドバイザー



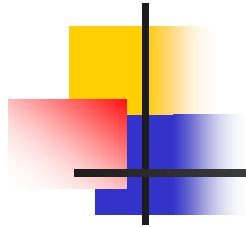
実績・対応可能  
テーマ等の情報



ニーズに関する  
情報提供

下水道アドバイザー機関

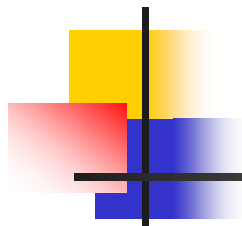
情報の収集・提供機能の充実



## まとめ

---

- 下水道アドバイザー業務の実施件数は、着実に増加している。
- 下水道アドバイザー登録者を全国に確保する必要がある。
- ニーズが多い分野の登録者の確保が必要である。
- 下水道アドバイザー制度に関する情報発信の充実が必要である。



## 下水道アドバイザー制度に関する情報

---

(財)下水道業務管理センター

<http://www.sbmc.or.jp/>



*Sewerage Business Management Center*